

読書の秋です

前期期末考査が終わりました。もう少しで夏季競技大会です。特に3年生は進路実現に向けて忙しい日々を過ごしていると思いますが、ひと息ついて楽しんだ後は、また全力投球で頑張りましょう。

暑さが続く中、朝夕すっかり涼しくなり、ようやく、秋の気配がチラホラと感じられるようになりました。落ち着いた読書をするには、最適な季節になりました。読書を通して新たに趣味や興味を見つけ、世界を広げてみませんか？

9月の新着予定本(全20冊)



水車小屋のネネ/津村記久子/毎日新聞出版
「家出ようと思うんだけど、一緒に来る？」身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることになった理佐と律。ネネのいる水車小屋で番人として働き始める青年・聡。水車小屋に現れた中学生・研司…人々が織りなす希望と再生の物語。



リボルバー/原田マハ/幻冬舎
ゴッホとゴーギャン。生前顧みられることのなかった孤高の画家たちの、伝説のヴェールを剥がせ！「ゴッホの死」。アート史上最大の謎に迫る、傑作ミステリ。



おみやげに選びたい！ときめくローカルパッケージデザイン/PIE International(編著)/PIE International
国内旅行の需要の高まりや地方移住者の増加など、地域に人が集まる今、ご当地商品やおみやげのパッケージが進化を遂げ、地域から新しい価値を生み出す、個性豊かなおみやげが次々と誕生している。旅先で心がおどる、あたらしい個性豊かなおみやげ242。



谷から来た女/桜木紫乃/文藝春秋
アイヌ紋様デザイナー・赤城ミワ。彼女といると、人は自分の「無意識」に気づいてしまう。自分の気持ちに、傷ついてしまう。そして、彼女は去ってゆく。忘れられない言葉を残して。桜木紫乃の真骨頂、静かに刺してくる大人の物語。



息のかたち/いしいしんじ/講談社
ひよんなことからひとの「息」が見えるようになった京都の高校生・夏実の物語。どんな世界になっても息づくいのちの躍動を描いた青春小説。コロナウイルスという「目にめーへんややこしいもん」にも変えられないもの。突然の休校や陸上大会の延期、急なモテへの戸惑い、そして受験と進路。コロナ禍の「青春のかたち」を切り取った、待望の作品集。



美しい本の仕事/袖木沙弥郎(著)/小林真理(編著)/PIE International
袖木沙弥郎(1922-2024)は100歳を超えても現役で創作を続けた染色家で、国内外で数多くの展覧会を開催。みずみずしい感性で創り上げられる図案。そして鮮やかな赤や青、柔らかな緑や水色など豊かな色彩。日常にある身近なモチーフを基点に、自由な心を介して型染や水彩画で生み出された装幀や絵本・ポスター・イラストレーションなど、幅広いジャンルの選りすぐりの作品を紹介。

他に

- ・両手にトカレフ/ブレイディみかこ/ポプラ社
- ・世界の街角グルメ/島本美由紀(文・レシピ)/PIE International
- ・日本で楽しむ わたしの北欧365日/森百合子(著・写真)/PIE International
- ・竹久夢二の世界 美人画からモダンデザインまで/王文萱、藤原 由希(訳)/PIE International
- ・ラッコBOOK/木村悦子/グラフィック社
- ・世界のパッチワーク 文化と伝承をつなぐ技法と作品コレクション/カトリヌ・ルグラン、石上美紀/グラフィック社
- ・ギリシャ神話キャラクター事典 世界一よくわかる！/オード・ゴエミンヌ/グラフィック社

e t c

8月末クラス別利用状況

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	0	0	0	0		0	9
2年	0	2	0	0		2	
3年	0	0	0	3		3	
職員					4	4	